

**2025年日本国際博覧会
大阪パビリオン推進委員会**

委員総会

令和5年2月7日

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会委員総会

日 時：令和5年2月7日（火） 13時30分から14時30分まで（予定）

場 所：マイドームおおさか 8階 第1・第2会議室

□次 第

- 報告事項1 出展基本計画に基づく具体的な検討状況について
- 報告事項2 2022年度収支予算の修正
- 報告事項3 2023年度事業実施計画案
- 報告事項4 2023年度収支予算案
- 報告事項5 協賛特典の再構築 ほか

□出席予定者 別紙（参考資料）のとおり

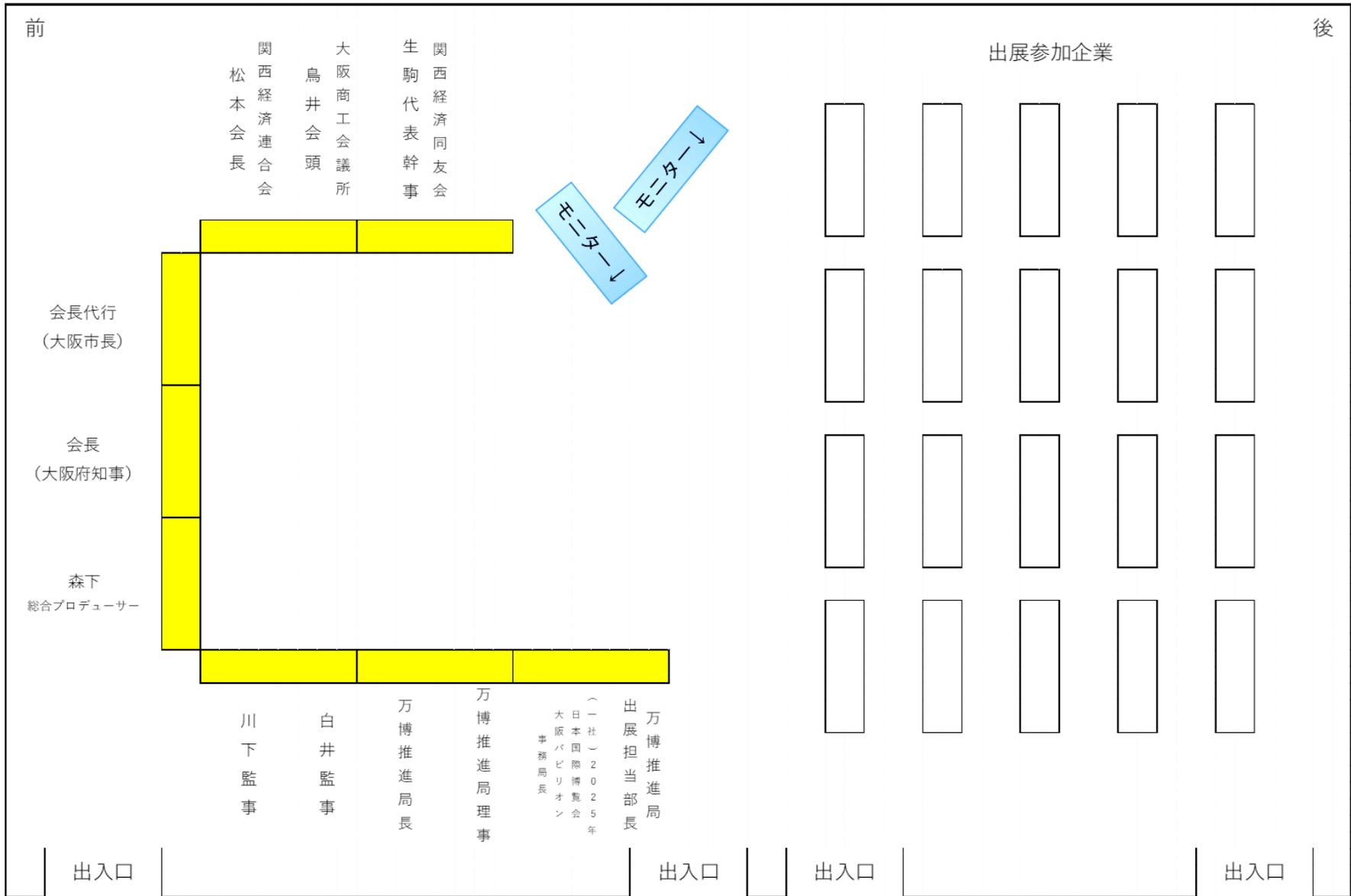
□配布資料

- 資料1 「出展基本計画に基づく具体的な検討状況について」
- 資料2 「2022年度収支予算の修正」
- 資料3 「2023年度事業実施計画案」
- 資料4 「2023年度収支予算案」
- 資料5 「協賛特典の再構築」
- 資料6 「大阪ヘルスケアパビリオンへの出展参加者の決定について」
- 資料7 「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会名簿」
- 資料8 「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会アドバイザー等名簿」
- 参考資料 「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会委員総会出席者一覧」

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会委員総会

日 時 令和5年2月7日（火曜日）13時30分～14時30分（予定）

場 所 マイドームおおさか 8階 第1・第2会議室



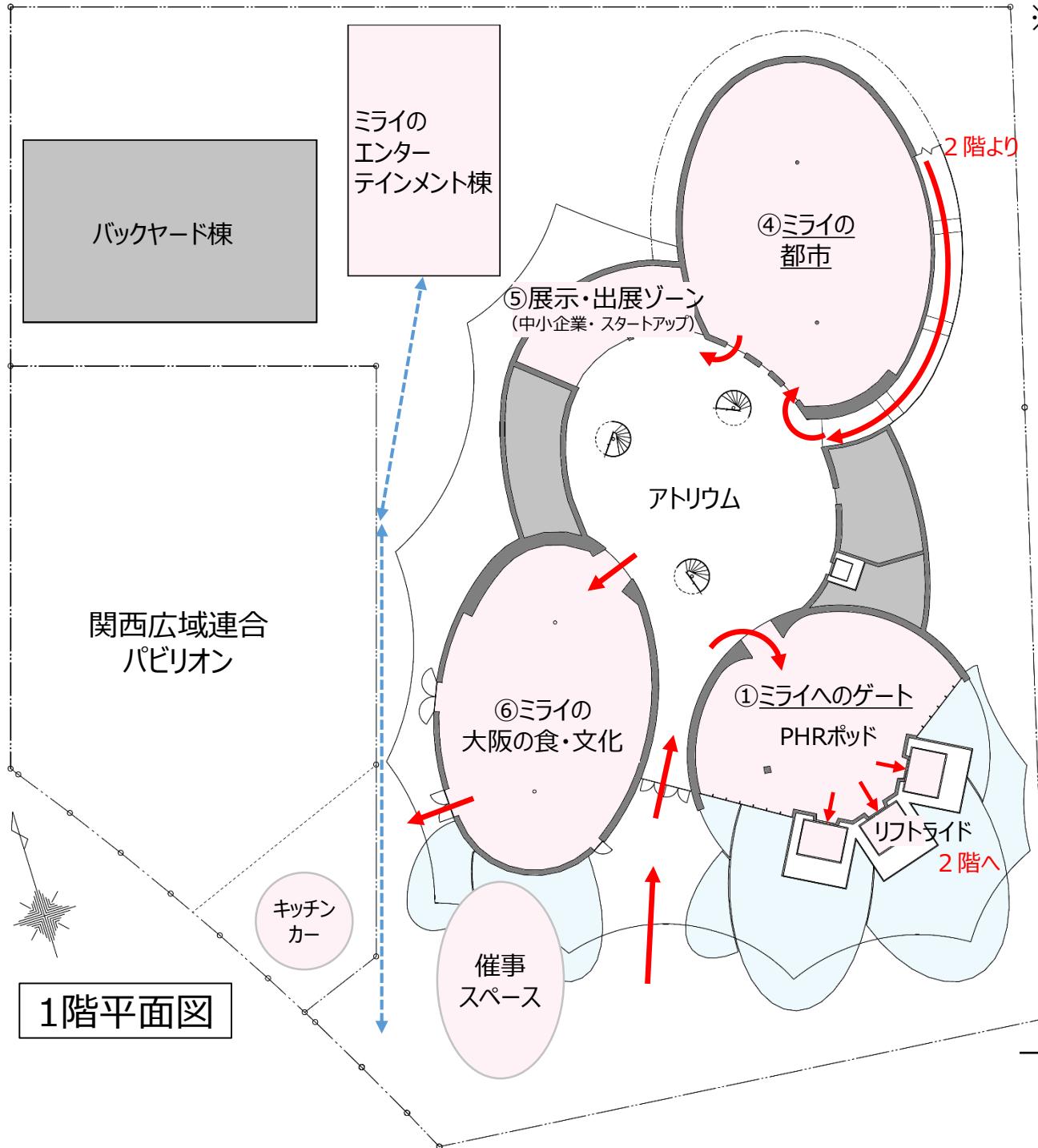
令和5年2月7日

出展基本計画に基づく具体的な検討状況について
(報告事項1)

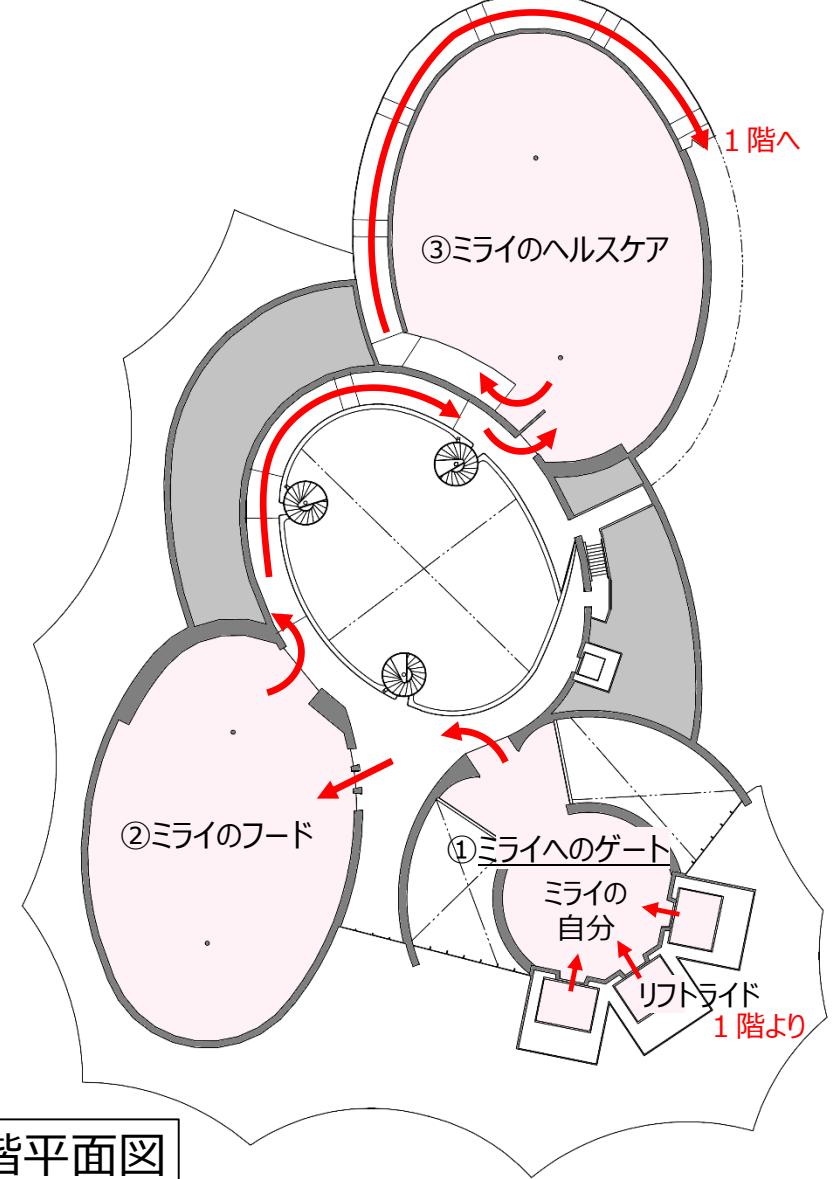
2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会事務局

建築・展示の検討概要

※ゾーン名称や展示概要については、検討中のため変更することがあります。



1階平面図



2階平面図

敷地面積

・約10,500㎡

建築計画

- ・有機的に重なり合う楕円の展示エリア
- ・ユニバーサルデザインに配慮したゆるやかなスロープが生み出す、ひとつながりの回遊性

建築の概要

	構造	階数	建築面積	延べ面積
本館棟	鉄骨造	2階建	約5,000㎡	約8,000㎡
ミライのエンターテインメント棟	鉄骨造	平屋建	約500㎡	約500㎡
バックヤード棟	鉄骨造	2階建	約650㎡	約1,300㎡

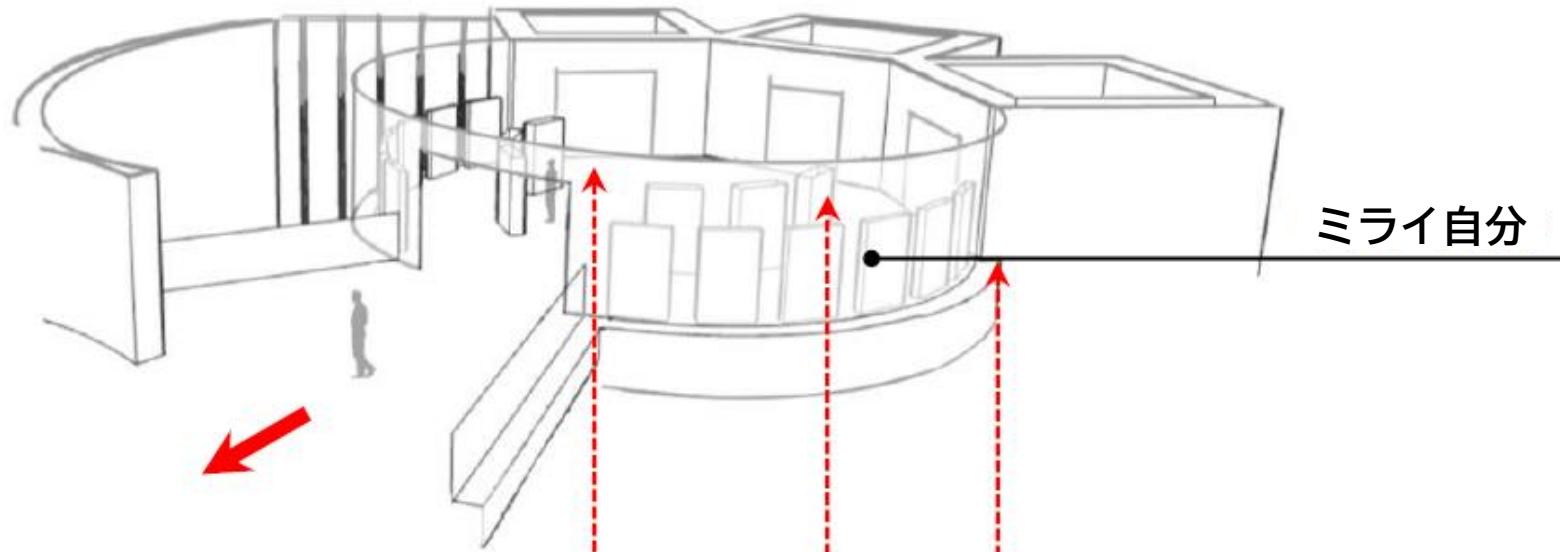
展示の概要

展示ゾーン	階数	概要
①ミライへのゲート (PHRポッド/リフトライド/ミライの自分)	1・2階	PHRポッドでパーソナルデータ (PHR) を取得、その後ライドで2階へ移動し、ミライの自分に出会う
②ミライのフード	2階	パーソナルデータ (PHR) をもとに、ミライのヘルスケアフードを提供
③ミライのヘルスケア	2階	栄養・身体・心に関する様々なミライのヘルスケア体験を提供
④ミライの都市	1階	生まれ変わった「ミライの自分」でミライの都市へ参加
⑤展示・出展ゾーン (中小企業・スタートアップ)	1階	優れた大阪の中小企業・スタートアップの技術・サービスを展示
⑥ミライの大阪の食・文化	1階	大阪産 (もん) の活用など、大阪の豊かな食文化・新たな食文化を発信
ミライのエンターテインメント棟		360度映像やARグラスなど先端技術を用いたXRシアターでミライのエンターテインメント体験を提供

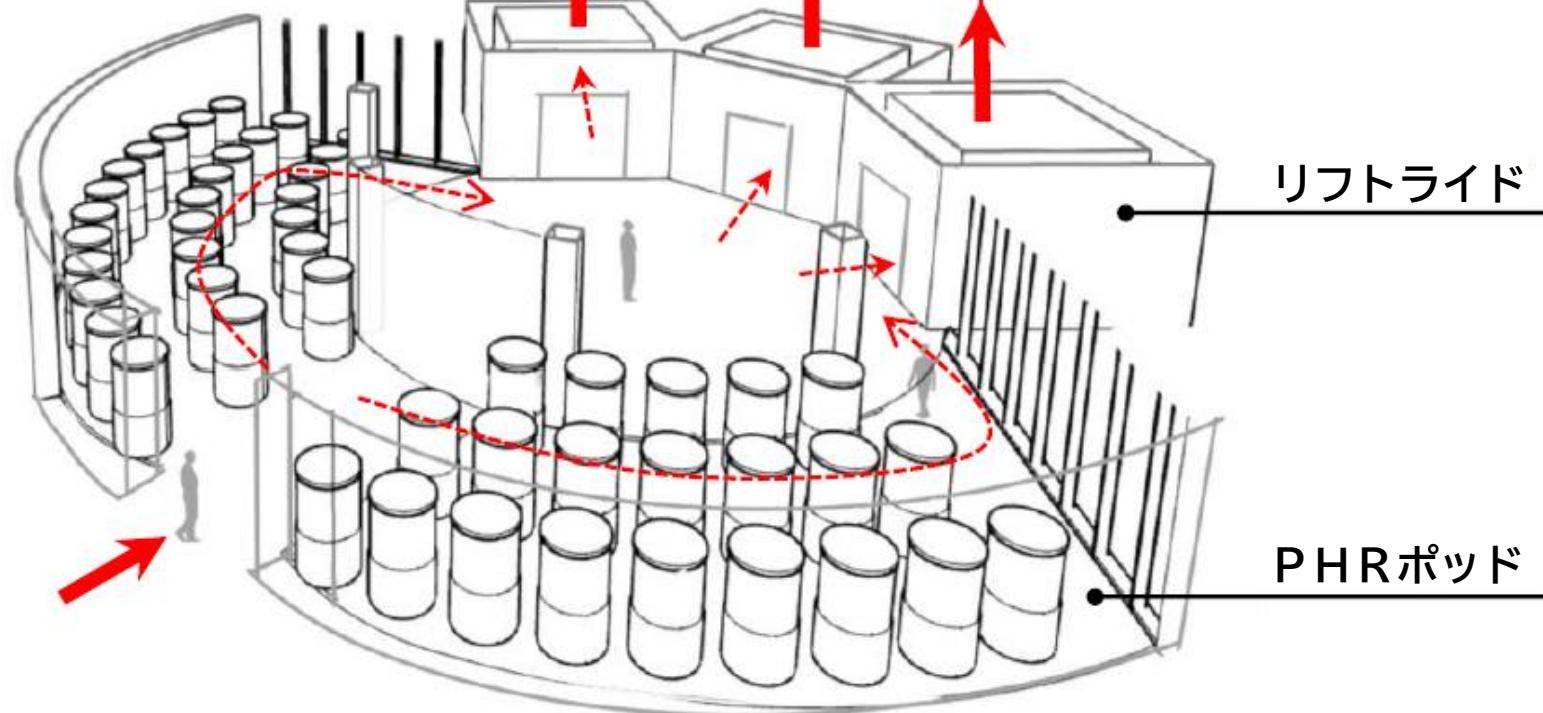
ミライへのゲートのイメージ

(展示基本設計において検討中のイメージです。)

2F



1F



ミライの都市ゾーンの検討

- 出展基本計画では、子どもから大人までが楽しみながら、未来の大阪の可能性を感じることができる展示を実現するために、展示全体に「ミライの都市生活」という展示ストーリーを設定しています。
- 北側1階の展示・体験ゾーンについては、未来に実現が想定される先端的な医療技術やサービスを体感するゾーンとして「ミライの医療」を検討してきました。
- 「ミライの都市生活」をより体感していただくために、医療のみならず、住まいや公共空間を含めさまざまな観点から体験し、楽しめる「ミライの都市」ゾーンとして検討を進めていきます。

「ミライの都市」のテーマ

Home

基礎的な医療・ケア機能をもった住居

Medical

未来の超先進医療技術・サービス

Public

移動交通、公共空間等に存在するケア

建築・展示の今後のスケジュール

建築については、11月25日に工事請負契約を締結し、当初計画通り、4月13日から工事着手の予定です。
 展示については、基本設計を進めており、来年度は実施設計に着手の予定です。



現時点での事業規模の見込み

建築工事費の見直しのほか、企業・団体・個人からの協賛・寄附の集まり状況による粗い試算になりますが、現時点での民間負担も含めた総事業規模の見込みは、以下の通りです。

今後、協賛・寄附を中心とする民間負担の集まり具合や展示内容を精査していく中で、確定してまいります。

項目	事業規模（税込）	備考
展示関連	約80～100億円	
建築関連	約110億円	設計・解体を含む
運営関連	約30～40億円	運営・広報など
計	約220～250億円	

※建築関連については、現時点で契約締結済みの支出額を計上

※展示関連については今後設計等を行い、運営については今後運営計画を策定することから、事業規模に幅を持たせ計上

<財務基本方針（出展基本計画より）>

財務基本方針は、公費負担、企業・団体・個人からの協賛・寄付を募り、公民一体となった大阪パビリオン出展を実現することにあります。大阪パビリオンに必要な資金は、大きく分類すると建築関連費用、運営関連費用、展示関連費用となります。公費負担、協賛、寄付のそれぞれが充当されるべき費用を整理し財務計画を立案します。

協賛に関しては、一定の特典を提供し獲得を加速させることを企画します。また、展示に関連した物販・飲食、催事の出展料などの収入を見込みます。公費負担については、過去の万博における自治体パビリオンでの負担額を参考に、適切なバランスをもとに検討していきます。（公費負担額は民間負担額を限度とします）

報告事項 2 2022年度収支予算の修正

【修正理由】

「2025年日本国際博覧会大阪館（仮称）基本設計業務（建築・設備）」及び事務費等の減額が見込まれることから、大阪府・大阪市に返還するため、2022年度の収支予算を修正するものである。

■2022年度収支予算

(単位：円)

項目		金額	備考
収入の部			
	自治体負担金	108,550,000	大阪府負担金 54,275,000 大阪市負担金 54,275,000
	協賛金収入	971,100,179	前年度繰越金（協賛金）を含む
合計		1,079,650,179	
支出の部			
	総合調整業務費	48,000,000	
	建築設計費（基本）	40,040,000	
	法人設立事務費	2,360,000	事務所敷金 ほか
	事務費等	18,150,000	アドバイザー等謝礼、監事報酬、事務費、広報費 ほか
	協賛金法人への移管	971,100,179	法人へ事業継承（前年度繰越金（協賛金）を含む）
合計		1,079,650,179	

(参考) 新旧対照表

修正後				修正前			
■2022年度収支予算				■2022年度収支予算			
項目		金額	備考	項目		金額	備考
収入の部				収入の部			
	自治体負担金	<u>108,550,000</u>	大阪府負担金 <u>54,275,000</u> 大阪市負担金 <u>54,275,000</u>		自治体負担金	134,550,000	大阪府負担金 67,275,000 大阪市負担金 67,275,000
	協賛金収入	971,100,179	前年度繰越金（協賛金）を含む		協賛金収入	971,100,179	前年度繰越金（協賛金）を含む
	合計	<u>1,079,650,179</u>			合計	1,105,650,179	
支出の部				支出の部			
	総合調整業務費	48,000,000			総合調整業務費	48,000,000	
	建築設計費（基本）	<u>40,040,000</u>			建築設計費（基本）	42,000,000	
	法人設立事務費	2,360,000	事務所敷金 ほか		法人設立事務費	2,360,000	事務所敷金 ほか
	事務費等	<u>18,150,000</u>	アドバイザー等謝礼、監事報酬、事務費、広報費 ほか		事務費等	42,190,000	アドバイザー等謝礼、監事報酬、事務費、広報費 ほか
	協賛金法人への移管	971,100,179	法人へ事業継承（前年度繰越金（協賛金）を含む）		協賛金法人への移管	971,100,179	法人へ事業継承（前年度繰越金（協賛金）を含む）
	合計	<u>1,079,650,179</u>			合計	1,105,650,179	

報告事項 3 2023年度事業計画案

■2023年度事業計画

I. 事業方針

当推進委員会では、2022年3月に策定した「2025年日本国際博覧会大阪パビリオン出展基本計画」（以下「基本計画」という。）をより具体化する取り組みを進めている。

2022年度は基本計画に基づき、建築、展示、行催事、運営とこれらにかかる財源確保、レガシーの利活用などについて検討を進めている。また、パビリオンの建築、展示、運営、資金管理等の実行業務を担当するために2022年7月に設立した「一般社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオン」と連携し、パビリオン出展に向けたより具体的な計画の策定、進捗管理を行っている。

2023年度は、引き続き基本計画策定後の進捗管理を行い、円滑なパビリオン出展を推進する。

II. 基本計画に基づく検討

1. 基本計画の実現にむけた全体の企画・進捗管理

出展参加テーマである「REBORN」の具体化とともに、万博で実現をめざす「SDGs」の目標達成を先導するという趣旨を踏まえながら、テーマ展開や事業推進の方向性、パビリオンのゾーニングやバーチャルも含めたコンテンツの検討などについての企画を行い、全体スケジュールを管理する。

2. 出展準備の総合調整

① 展示、建築、行・催事、運営

一般社団法人2025年日本国際博覧会大阪パビリオンと連携し、円滑な業務実施のために適切な進捗管理を行う。

② 商業活動

物販、飲食、その他サービスの提供等を含めた商業活動実施計画の策定に取り組む。

③ 広報

広報に係る全体の調整等を行う。

④ 財務

各事業の進捗を踏まえ、必要に応じ財務計画の見直しを含めた調整を行うとともに、引き続き協賛・寄附の獲得に努める。

⑤ レガシー

ハードレガシー及びソフトレガシーについて、具体的な事業内容等の検討を進めていく。

■2023年度収支予算

(単位：円)

項目		金額	備考
収入の部			
	自治体負担金	68,711,000	大阪府負担金 34,355,500 大阪市負担金 34,355,500
合計		68,711,000	
支出の部			
	総合調整業務費	58,711,000	推進委員会業務全体に係る各種調整業務等
	事務費等	10,000,000	アドバイザー等謝礼、監事報酬、事務費 ほか
合計		68,711,000	

※本収支予算は、大阪府・大阪市の令和5年度予算の成立が前提となります。

魅力的で子どもから大人までが楽しんでいただけるパビリオンの実現に向け、より多くの企業・団体にご協賛いただけるよう、協賛特典のメニューの拡充など再構築を行います。

1 イベント開催等の参加形態を拡充

大阪ヘルスケアパビリオンに展示出展する協賛者を対象とする協賛特典メニューに加え、展示出展はしないが、屋外催事スペースでイベント開催する協賛者やVIP室等を利用する協賛者を対象とするメニューを設ける。

2 協賛額区分の細分化

参加形態の拡充に対応できる協賛特典メニューを設定するため、1千万以上～1億円未満の協賛額区分を細分化し、ご協賛いただきやすい価格帯を設ける。

3 グループ協賛の設定

企業・団体間の様々な連携手法により協賛いただけるようグループ協賛を可能とする。

- ・非法人型JVなど共同企業体による協賛
- ・共同企業体は組成しない企業間連携による協賛
- ・協賛される企業・団体とは異なる企業・団体が出展する展示者支援による協賛

「1 イベント開催等の参加形態を拡充」 「2 協賛額区分の細分化」

展示出展はしないが、屋外催事スペースでイベント開催する協賛者等を対象とする

協賛金額	協賛者が活用できる特典								推進委員会が実施する内容			推進委員会 委員への 就任権
	広告宣伝			パビリオン内				PHR 活用権	協賛者名・企業ロゴ掲載権			
	呼称権 (ランク)	公式ロゴ 使用权	名称表示権	展示権	行事参加権	VIP室利用権	イベント 開催権		パビリオン内 (名盤)	ホームページ	広告・ プロモーション	
8千万円 以上	オフィシャル パートナー	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○
5千万円 以上	オフィシャル パートナー	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○
2千万円 以上	オフィシャル パートナー	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	○
1千万円 以上	オフィシャル パートナー	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×	○
100万円 以上	<u>サポーター</u>	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×

細分化

協賛ランク、協賛金額により、規模や回数など、得られる特典の内容が変わります。

(参考) 展示出展を行う協賛者を対象とする協賛メニュー

展示出展する協賛者を対象とする (従前どおり変更なし)

協賛金額	協賛者が活用できる特典							推進委員会が実施する内容			推進委員会委員への就任権	
	広告宣伝			パビリオン内				PHR活用権	協賛者名・企業ロゴ掲載権			
	呼称権(ランク)	公式ロゴ使用権	名称表示権	展示権	行事参加権	VIP室利用権	イベント開催権		パビリオン内(名盤)	ホームページ		広告・プロモーション
10億円以上	スーパープレミアムパートナー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5億円以上	プレミアムパートナー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3億円以上	デラックスパートナー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1億円以上	スペシャルパートナー	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

協賛ランク、協賛金額により、規模や回数など、得られる特典の内容が変わります。

グループ協賛の設定

Aタイプ

非法人型JVなど共同企業体による協賛

例

共同企業体X x億円

A社

B社

C社

トータル協賛額 x億円

- 基本は共同企業体に対してトータル協賛額に応じた特典を提供
- 各構成企業・団体には、呼称権及びロゴ使用权（制限付き）を提供
- P H R 活用権は提供しない

Bタイプ

企業間連携協賛（共同企業体は組成していない）

例

A社

a億円

B社

b億円

C社

c億円

トータル協賛額 a + b + c 億円

- 展示権、行事参加権、VIP室使用权、イベント開催権は、トータル協賛額に応じた特典を付与（構成企業・単体間で分配）
- その他の特典は、各構成企業・団体の協賛金額に応じて提供
- P H R 活用権は付与しない

Cタイプ

展示者支援協賛（協賛者と展示者が別）

例

支援協賛企業
Y社

y億円

支援

展示者

α社

β社

γ社

トータル協賛額 y億円

- 支援協賛企業に対して協賛額に応じた特典を提供
- 展示者(被支援者)には、呼称権及びロゴ使用权（制限付き）を提供

大阪ヘルスケアパビリオンへの出展参加者の決定について

【出展参加者一覧】

- アサヒグループジャパン株式会社

※令和4年11月21日に開催された2025年日本国際博覧会大阪パビリオン
推進委員会委員総会以降に出展参加者として決定した企業

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 名簿
(2023年2月7日現在)

◆役員等

会長	大阪府知事	
会長代行	大阪市長	
監事	白井 弘	白井公認会計士事務所公認会計士
監事	川下 清	梅田綜合法律事務所弁護士
顧問	松本 正義	公益社団法人関西経済連合会会長
顧問	鳥井 信吾	大阪商工会議所会頭
顧問	生駒 京子	一般社団法人関西経済同友会代表幹事

◆委員

大阪府
大阪市
公益社団法人関西経済連合会
大阪商工会議所
一般社団法人関西経済同友会

・協賛企業 (50音順による)

(新) アサヒグループジャパン株式会社
株式会社池田泉州銀行
江崎グリコ株式会社
(新) 大阪商工信用金庫
(新) 大阪信用金庫
株式会社カプコン
小林製薬株式会社
株式会社サイエンス
公益社団法人全日本不動産協会
大日本印刷株式会社
タカラベルモント株式会社
TIS株式会社
東京書籍株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
日本生命保険相互会社
パナソニックホールディングス株式会社
阪急コンストラクション・マネジメント株式会社
株式会社 ビットキー
BIPROGY株式会社
株式会社ファーマフーズ
株式会社ミルボン
森永乳業株式会社
株式会社りそな銀行
ロート製薬株式会社
六甲バター株式会社

・協力機関 (50音順による)

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
公益財団法人大阪観光局
大阪工業大学
大阪公立大学
一般財団法人大阪国際経済振興センター
地方独立行政法人大阪産業技術研究所
公益財団法人大阪産業局
大阪大学
大阪府中小企業団体中央会
関西大学
近畿大学
公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団
(新) 一般社団法人日本抗加齢医学会
(新) 特定非営利活動法人日本抗加齢協会
森ノ宮医療大学
立命館大学

2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会 アドバイザー等名簿（2023年2月7日現在）

※敬称略 50音順による

		氏 名	職 名
総合プロデューサー		森下 竜一	大阪大学大学院 医学系研究科 寄附講座教授
スーパーバイザー		東 博暢	株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 プリンシパル
		大津 欣也	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター 理事長
		つくも♂	音楽家/総合エンターテインメントプロデューサー
		遠山 正彌	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 理事長
		中村 祐輔	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長
		西澤 良記	公立大学法人大阪 理事長
		橋爪 紳也	大阪公立大学 研究推進機構特別教授/大阪公立大学 観光産業戦略研究所長
		溝畑 宏	公益財団法人 大阪観光局 理事長
シニアアドバイザー		河田 則文	大阪公立大学大学院 医学研究科長・医学部長
		熊ノ郷 淳	大阪大学大学院 医学系研究科長・医学部長
ヘルスケア・ 先端予防ドック	ディレクター	山田 秀和	近畿大学 医学部 皮膚科学教室 客員教授/近畿大学奈良病院 非常勤医師/ 近畿大学アンチエイジングセンター 所員
	アドバイザー	赤澤 純代	金沢医科大学 総合内科学 臨床教授・女性総合医療センター長
		國澤 純	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター長
		新村 健	兵庫医科大学 総合診療内科 主任教授
		高島 正広	日本抗加齢協会 理事 関西支部 事務局長
		内藤 裕二	京都府立医科大学大学院 医学研究科 生体免疫栄養学講座 教授
		堀江 重郎	順天堂大学 医学部 泌尿器外科学講座 主任教授
未来の病院・ 先端医療展示	ディレクター	富田 哲也	森ノ宮医療大学大学院 保健医療学研究科 教授
	アドバイザー	猪原 秀典	大阪大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授
		掛屋 弘	大阪公立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学 教授
		忽那 賢志	大阪大学大学院 医学系研究科 感染制御医学講座 教授
		阪井 丘芳	大阪大学大学院 歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 顎口腔機能治療学教室 教授
		坂田 泰史	大阪大学大学院 医学系研究科 循環器内科学 教授
		鶴田 大輔	大阪公立大学大学院 医学研究科 教授・特命副学長（国際広報担当）
		富山 憲幸	大阪大学大学院 医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学 教授
		朝野 和典	地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 理事長 2025年日本国際博覧会 感染症対策検討会議（座長）委員・感染症対策顧問
		中村 博亮	大阪公立大学大学院 医学研究科 整形外科学 教授
		西田 幸二	大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経感覚器外科学（眼科学）主任教授
		藤本 学	大阪大学大学院 医学系研究科 皮膚科学 教授
		宮川 繁	大阪大学大学院 医学系研究科 心臓血管外科学 教授
食・レストラン	ディレクター	増田 昇	大阪府立大学 名誉教授
	アドバイザー	大引 伸昭	辻調理師専門学校 日本料理教授
		笠岡（坪山） 宣代	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国際栄養情報センター 国際災害栄養研究室室長
		北宅 善昭	大阪府立大学 名誉教授
		鈴木 裕子	株式会社Office musubi 代表取締役
		尾藤 環	辻調理師専門学校 産学連携教育推進室室長
		山口 タ	大阪公立大学 農学研究科准教授
バーチャル・ バーチャル大阪 パビリオン	ディレクター	佐久間 洋司	大阪大学 グローバルイニシアティブ機構 招へい研究員
	アドバイザー	荒木 英士	グリー株式会社 取締役上級執行役員/REALITY株式会社 代表取締役社長
		稲見 昌彦	東京大学先端科学技術研究センター 教授
		玉城 絵美	琉球大学 工学部知能情報コース 教授
プラットフォーム・ データ基盤	アドバイザー	阿多 信吾	大阪公立大学大学院 情報学研究科 教授
		坂田 恒昭	大阪大学共創機構 特任教授
		宮本 貴朗	大阪公立大学大学院 情報学研究科長
デジタル通貨	アドバイザー	松田 一敬	神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 客員教授
		宮沢 和正	東京工業大学 経営システム工学 講師
		山岡 浩巳	フューチャー株式会社 取締役 フューチャー経済・金融研究所長
エキスパート	ユニバーサル デザイン	石塚 裕子	大阪大学大学院 人間科学研究科附属未来共創センター 講師
	SDGs全般	草郷 孝好	関西大学 社会学部 教授
	ボランティア・ 市民参加	永井 美佳	大阪ボランティア協会 常務理事・事務局長
	環境配慮	西岡 真稔	大阪公立大学大学院 工学研究科 教授
	建築 ジェンダー・ インクルーシブ	藤本 壮介	建築家/2025年日本国際博覧会会場デザインプロデューサー
		諸田 智美	NPO法人女性と仕事研究所 代表理事